

報道関係各位

公開ブリーフィング（第3回）
2020 SDG s 東京五輪「持続可能性運営計画第2版」に向けて、企業との情報共有
 —2017年9月14日（木） 3×3 Lab Future サロン—

「持続可能な大会」として名高い、2012年ロンドン五輪・パラリンピックの成功の秘訣は、計画初期段階から多くの民間ステークホルダーを巻き込めたことにあるといえます。

2020年東京大会でも、2015年2月に発表した「大会開催基本計画」ビジョンに「エンゲージメント」を掲げ、「大会ビジョンを広く醸成し国内外の人々と共に大会を創りあげていく活動」として、学識経験者、民間セクター、NGO・NPO、業界団体等多くの方々との協働で取組む、と謳っています。

少なくない有識者から、東京大会はロンドンに比べて対応が遅い、との指摘を受ける中、エンゲージメントについても、捗々しくないようです。

そこで、残り3年を切る今、具体的内容が求められている「持続可能性に配慮した運営計画 第2版」（2018年3月公表予定）に向けて、学識経験者たちが持続可能性配慮施策として何を提言している、それに対応するアクションとして、民間部門や国内NGO・NPO達がどこまで準備を進めているのか？その実現のためには各主体がどのように参加することができるのか？について、公開ブリーフィングを開催、エンゲージメントの構築により準備の加速化を目指します。

日 時： 2017年9月14日（木）午前11:30～午後14:00

・報道関係者受付開始午前10:30～

・一般参加者受付開始午前11:00～（開場 午前11:10）

場 所： 3×3 Lab Future サロン

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1階 TEL：03-3287-6200

アクセス：<http://www.33lab-future.jp/access.html>

主 催： サステイナブル・ビジネス・ウィメン、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク（SUSPON）

公益財団法人 自然エネルギー財団

協 力： NPO法人サステナビリティ日本フォーラム

登壇者： 小宮山 宏 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

街づくり・持続可能性委員会 委員長

羽仁カンタ 持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク(SUSPON)代表

藤野 純一 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

街づくり・持続可能性委員会 委員

梅原由美子 Value Frontier(株) 取締役(サステイナブル・ビジネス・ウィメン)

坂本 有希 一般財団法人地球・人間環境フォーラム 専務理事(SUSPON 事務局長)

鈴木 孝雄 スズクホールディングス株式会社 代表取締役会長

西本 利一 東京製鐵株式会社 代表取締役社長

星山 英子 株式会社 スーパーホテル 経営品質部 部長

森澤 充世 Principles Responsible Investment ジャパンヘッド

JX その他オフィシャルスポンサー(交渉中)

小池百合子 東京都知事

注意事項： ・事前申し込みの上、ご来場ください。

・撮影にあたっては会場スタッフの指示に従ってください。

・駐車場はございません。ご了承ください。

参加対象： ・企業、NGO関係者（事前登録制、先着120名様）、参加費無料。

・東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部、東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会、環境省、東京都の担当者には傍聴を呼び掛けています。

※本行事は、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の平成29年度の助成を受けて開催されます。

公開ブリーフィング（第3回）
2020 SDG s 東京五輪「持続可能性運営計画第2版」に向けて、企業との情報共有
【プログラム】※敬称略、発言者予定順。テーマは仮題。

<総合司会>大和田順子（おおわだ じゅんこ）

一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表（サステイナブル・ビジネス・ウィメン）

1. 主催者挨拶（3分）

鈴木 敦子（すずき あつこ）

（株）環境ビジネスエージェンシー 代表取締役（サステイナブル・ビジネス・ウィメン事務局長）

2. ブリーフィング（30分）

1) 小宮山 宏（こみやま ひろし） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
街づくり・持続可能性委員会 委員長

「街づくり・持続可能性委員会の審議の進捗とNGO・NPO、企業への期待」（15分）

2) 羽仁 カンタ（はに かんた） 持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク
（略称：SUSPON） 代表

「2020大会へ向けた活動紹介」（15分）

3. パネルディスカッション（80分）

街づくり・持続可能性委員会・藤野委員をコーディネーターに、SUSPON参加団体、企業等が、持続可能性配慮施策への意欲・計画と、直面している困難について議論し、困難の克服策を構想します。

<モデレーター>

藤野 純一（ふじの じゅんいち） 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員
街づくり・持続可能性委員会 委員

- ・梅原 由美子（うめはら ゆみこ） Value Frontier(株) 取締役(サステイナブル・ビジネス・ウィメン)
- ・坂本 有希（さかもと ゆき） 一般財団法人地球・人間環境フォーラム 専務理事(SUSPON 事務局長)
- ・鈴木 孝雄（すずき たかお） スズクホールディングス株式会社 代表取締役会長
- ・西本 利一（にしもと としかず） 東京製鐵株式会社 代表取締役社長
- ・星山 英子（ほしやま えいこ） 株式会社 スーパーホテル 経営品質部 部長
- ・森澤 充世（もりさわ みちよ） Principles Responsible Investment ジャパンヘッド
- ・JX その他オフィシャルスポンサー（交渉中）

4. 総括（15分）

小池百合子（こいけ ゆりこ） 東京都知事（サステイナブル・ビジネス・ウィメン 最強顧問）

「国民参加の五輪のために、ホストシティとして対応できること、これからやりたいこと」

・サステイナブル・ビジネス・ウィメンについて

日本の未来のためには、環境を良くすることで経済を発展させ、経済の活性化が環境を改善する『環境と経済の好循環』を作っていくことが重要。そのためには「女性のチカラがもっと活用されなければならない！」と、2004年に小池百合子環境大臣が、環境関連ビジネスに関わる女性経営者や女性オピニオンリーダーと共に開いた懇談会。「環境と経済の好循環」の実現を主題とし、環境ビジネスについて女性リーダーの視点で議論したのが特徴。その後、歴代の環境大臣に引き継がれ、社会への発信を続けてきた。2007年6月に一般社団法人化したのが、2013年3月に発展的解散。現在、当時のアクティブメンバーらが集まり「サステイナブル・ビジネス・ウィメン」として再結成。さまざまな政策提言を展開中。

- ・持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク（SUSPON）について <http://suspon.net/>
- ・一般財団法人地球・人間環境フォーラムについて <http://www.gef.or.jp/>
- ・公益財団法人自然エネルギー財団について <http://www.renewable-ei.org/>

【取材申請書】

以下の申請書をFAXにて事前送付願います。

事前にお申し込みの無い方のご入場はお断りいたしますのでご了承ください。

※申込先： サステナブル・ビジネス・ウィメン事務局（環境ビジネスエージェンシー内）：担当・前野

FAX 03-3296-8656

※申込期限：2017年9月8日（金） 15:00時必着

公開ブリーフィング 2020 SDGs 東京五輪「持続可能性運営計画第2版」に向けて、企業との情報共有

◎取材後の掲載誌（紙）または同録は必ずお送りくださいますようお願いいたします。

ふりがな	
[会社名]	
ふりがな	※当日取材される代表者の携帯番号を記入してください。
[申請者名]	[携帯電話]
[TEL]	[FAX]
[E-mail]	
[住所] 〒	
[メディア] 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・WEB・携帯サイト・その他（ ）	
[メディア名]	
[掲載・放送予定日]	

<取材者>

ふりがな	
[代表者氏名]	[所属 (雑誌名・番組名)]
ふりがな	
[氏名]	[所属 (雑誌名・番組名)]

<撮影者> スチール ムービー

ふりがな	
[氏名]	他（ ）名

※取材者名は必ずご来場される方のお名前をご記入ください。

<備考>

※その他、取材に関して特筆することがあればご記入ください。

◎取材のお申込み先／公開ブリーフィングに関する内容のお問合せ先：

サステナブル・ビジネス・ウィメン事務局（株式会社環境ビジネスエージェンシー内 担当：前野）

TEL：03-3296-8655、FAX：03-3296-8656、Email：toiawase@ebagency.jp

◎一般のお申込み先：一般財団法人地球・人間環境フォーラム（担当：坂本・斎藤）

プログラム詳細(申込フォーム)：http://suspon.net/ev_170914briefing TEL：03-5825-9735

Email：contact_suspon@suspon.net

※先着120名、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。